

広報 すぎなみ

Suginami 



みどり豊かな 住まいのみやこ

{ 2/15 }
令和5年(2023年)
No.2347

故郷の平和を思い
杉並で歩み始めて。

戦禍を逃れ、ウクライナ西部のリュボムリ市より杉並に避難しているイエブトウシユク・ナタリアさん。今は日本語を学びながら、区役所1階の「コミュかるショップ」で販売の仕事をしています。少しずつ地域に溶け込みながら、新たな一歩を踏み出すナタリアさんに、杉並の住み心地、故郷への思いなどを伺いました。



特集

↑
すぎなみピト

イエブトウシユク・ナタリア

☎ 166-8570 杉並区阿佐谷南1-15-1 | ☎ 3312-2111(代表) FAX 3312-9911(広報課直通) | 🌐 区ホームページ: <https://www.city.suginami.tokyo.jp/> | 📄 発行: 杉並区 | 📝 編集: 広報課

お知らせ

新型コロナウイルスの感染状況によっては、本紙掲載の催し等が変更・延期または中止になる場合があります。最新情報は、区ホームページをご確認ください。



広報すぎなみは月2回(1・15日)発行。新聞折り込みのほか、区の施設・駅・コンビニエンスストアなどの広報スタンドに設置しています。

声をかけてくれるまちの人の優しさに励まされています

戦争が始まり、西ウクライナから杉並へ

—ナタリアさんにとってこの冬は日本で過ごす初めての冬ですね。

ウクライナの冬はマイナス20℃になる日もあるほど寒いので、東京で過ごすこの冬は、私が今まで生きてきた中で一番暖かい冬です。通りを歩いていると道端に花が咲いていて驚きます。私は植物が好きで、ウクライナの自宅では花を植えて花壇作りを楽しんでいました。でも冬は花が咲くような気候ではありませんから、今杉並で冬を過ごしなが、道端の花を見かけると気持ちが明るくなります。同時に、ウクライナでの暮らしを思い出し、心配な気持ちも絶えません。

—どのような経緯で来日したのか、改めてお聞かせください。

2022年2月にロシアによるウクライナ侵略が始まったことを受けて、同年4月にポーランドとの国境に近いウクライナ西部のリュボムリというまちから、杉並へ避難してきました。なぜ杉並だったかということ、長男が日本の大学院で学び、卒業後に日本の企業へ就職して杉並で暮らしていたから。その



長男を頼り、次男と共に日本へ避難することを決めました。避難することには迷いもあり、特に夫をはじめ家族と離れることを受け入れるのはとても苦しかったです。それでもやはり、命を守るためには避難するほかならぬと感じ、決意しました。

初めての日本暮らしで感じていること

—ナタリアさんは今回の来日が初めての日本でしたか？

はい、日本には来たことがありませんでした。もともと長男に会うために日本へ旅行する計画を立てていたのですが、新型コロナウイルスの影響で叶わず。まさかこのような形で日本に来ることになるとは思ってもいませんでした。避難という形ではありますが、長い間会えていなかった息子に再会できたことはとてもうれしかったです。長男の妻（日本人）の家族と会えたことにも感謝しています。

—日本での暮らしは杉並でスタートしました。住み心地はいかがですか？

久我山で暮らしていますが、周りに公園が多く、きれいなまちでとても気に入っています。お年寄りに優しいまちという印象も受けました。人の優しさと温かさは、故郷のリュボムリと重なります。杉並の人たちは私たち家族をいつも気にかけて、心配してくれます。私たちウクライナ人は日本で東日本



大震災が起き、さらに原発事故が起きたときに、ニュースを見てわが国のこのように心配しました。同じような気持ちで今、杉並の皆さんがウクライナのことを心配してくれているのが伝わってきます。

—似ている部分がある一方で、文化の違いに戸惑うこともあったのでは？

いろいろな違いがある中でも驚いたのは「建前」の文化です。ウクライナではストレートに本音を言うのが当たり前で、建前を使うことはほとんどありません。でも、世界の国はどこも違って当然です。建前は日本の文化なのだとすぐに理解しました。

—杉並のまちで気に入っている場所はありますか？

商店街が好きです。久我山駅から商店街を歩いて家に帰る道のりがすごく楽しいです。故郷のリュボムリは道が広くて人口も少ないので、ゆったりとしています。ですから最初、久我山の商店街の道はとても狭くてびっくりしましたが、私にとっては新鮮で面白くも感じています。車や自転車が走っているすぐそばを通り過ぎるのは、まだちょっと怖いんですけど（笑）

多くの支援への感謝。そして故郷への思い

—少しずつ地域と関わる機会も増えてきたそうですね。

日本に来て一番苦労しているのが日本語です。今、日本語教室で一生懸命勉強しています。店で買い物したりするときに、少しずつ会話ができるようになってきて交流できることがうれしいです。昨秋は区のイベント「すぎなみフェスタ」でウクライナの郷土料理「ボルシチ」を作って販売する機会もいただきました。日本の人にウクライナの文化を紹介し、知ってもらい、ボルシチを買ってもらうことでウクライナへの支援につながったことがとてもうれしかったです。



—昨年末から区役所1階の「コミュカルショップ」での仕事も始めましたね。

私はウクライナで20年近く玩具店を経営してきた経験があり、販売のプロセスはよく分かっているのが得意です。その経験を生かして、またお店で物を売る仕事ができることは本当にうれしいし、何より自信になります。ウクライナから来たことが分かるようにバッジを付けて働いていますが、それを見たお客さんが声をかけてくれることも多く、とても励まされています。目標としているのは、もっと日本語を理解できるようになって、コミュニケーションをたくさん取れるようになることです。

—終わりの見えない戦争が続く中、故郷にどのような思いを抱いていますか？

区役所の方、区民の方、多くの方に支援していただき、私は今安全な暮らしを送っています。ただ、母国の状況や母国にいる家族のことは常に心配です。会いたい気持ちでいっぱい。ほとんど毎日家族に電話をかけていますが、停電になることも多いようで、つながらないことも珍しくありません。毎日のように攻撃への警戒を告げるサイレンが鳴り、故郷の人たちはみんな不安な日々を過ごしていると聞いて、胸が痛みます。

—今回のインタビューを通して、区民に伝えたいことはありますか？

どうか皆さんはこの戦争への関心を失わずにいてほしいです。この戦争はロシアとウクライナだけの問題ではなく、世界的な問題であって、決して人ごとではありません。そして、関心を持ち続けると同時に、どうか自分たち



1 Євтушук Н.Ю.

イエプトウシュク・ナタリア

プロフィール：イエプトウシュク・ナタリア 1971年ウクライナ・リュボムリ市生まれ。ロシアによるウクライナ侵略を受けて、2022年4月に杉並へ避難。「LTC友の会」が杉並区交流協会で開催している日本語教室で日本語を学びながら、区役所1階の「コミュカルショップ」で販売員として働いている。夫と息子2人がある。



日本人が自分たちの国である日本を大切にすることを忘れてほしくないと思います。今ウクライナは寒い季節にあります。少しでも現地の人たちが暖かく過ごすための物資の支援などをいつも考えています。これからも日本人たちと協力してサポートを続けていきたいです。

平和について考えてみませんか？

平和展

「東京大空襲と今、ウクライナで起きていること」

図 ①3月1日(水)まで、午前9時～午後8時(2月15日～17日を除く。日曜日、祝日は5時まで) ②3月6日(月)～10日(金)午前8時30分～午後5時(10日は4時まで)

図 ①中央図書館(荻窪3-40-23) ②区役所2階区民ギャラリー 図 写真展示① 14点②49点 図 区民生活部管理課平和事業担当

© Aris Messinis

紙面には掲載しきれなかった取材のこぼれ話も動画で紹介しています。

YouTubeで配信中!

すぎなみビト MOVIE

すぎなみビト「イエプトウシュク・ナタリアさん」のインタビューが動画でも楽しめます。右2次元コードからご覧いただけます。

杉並区公式チャンネル

Information

区内のウクライナ避難民の方を支援します



ワンストップ相談窓口を設置しています

区は、戦禍を逃れて区に避難してきた(避難してくる)ウクライナの方が安心して生活できるように、相談窓口を設置しています。杉並区交流協会と連携し、住居の確保・子育て・教育・医療など、生活全般に係る相談を受け付けています。

Ми створили консультаційний пункт.

電話：3312-9415
時間：月～金曜日、午前9時～午後5時(祝日を除く)

Телефон：3312-9415
Графік роботи：понеділок-п'ятниця, 9:00-17:00 (крім святкових днів)

対応言語：ウクライナ語・ロシア語・英語・やさしい日本語
※ウクライナ語・ロシア語は、通訳者の手配に時間がかかる場合があります。

図 文化・交流課

and more!

ウクライナ緊急支援寄附金を募集しています

ウクライナ避難民の方の支援に活用するため、寄附金を受け付けています。ご協力をお願いします。

◆ウクライナ緊急支援寄附金

【入金方法】「ゆうちょ銀行・郵便局 口座記号番号11390-01459721 口座加入者名 一般財団法人杉並区交流協会」へ振り込み

図 杉並区交流協会 ☎5378-8833